

事務事業名	公民館管理費										担当課	部課名	生涯学習部善行公民館			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	06	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	安孫子 慎司	電話	6287

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	公民館の円滑な運営・管理のための施設等の維持管理。																
対象	1. 個人	市民														433,060	人
根拠法令等	法律等	社会教育法, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律, 藤沢市公民館条例															
事業実施内容	適切な施設・設備等の管理を行い, 利用しやすい環境を整えた。																
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 (:) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:) <input type="checkbox"/> その他 (:)																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R元年度 支出済額 113 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	46 千円	印刷機用消耗品費
		使用料及び賃借料	67 千円	印刷機賃借
財源内訳	R元年度 支出済額 113 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	113 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源				

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	令和元年度
正規職員等	0.05
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.05

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト 支出	行政費用 A	1,044	1,039	711	599
	(1)現金を伴う支出 (千円)	1,045	1,052	716	599
	事業費(支出済額-②報酬合計)	563	569	235	113
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	482	483	481	486
	①職員給与合計(常勤)	455	461	458	457
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	27	22	23	29
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1	-13	-5	0
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-1	-13	-5	0
③不納欠損額	0	0	0	0	
④その他 ()	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	2.46	2.43	1.66	1.38	
	425,105	427,501	429,317	433,060	

成果実績	指標名	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		施設等の維持・管理を目的とした事務事業のため、指標の設定はできない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-		-		-		-		-

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）
 ※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 令和元年度末時点の課題	特になし
(2) (1)解決のための今後の取組	特になし

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	印刷機を設置することで，公民館の円滑な運営・管理をすることができた。	
今後の方針	事業の方向性	事業統合
	今後も引き続き，円滑な運営・管理ができるよう取り組んでいく。 この事務事業については，令和2年度から公民館運営業務費と統合し，より効果的，効率的な運営を図っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
14	公民館使用申請に関すること	無	無	1	
15	公民館使用料に関すること	無	無	1	
16	公民館使用取消申請に関すること	無	無	1	

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。
 ※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------

成果実績	指標名	公民館事業参加者数	目標	9,468	単位 人	9,642	単位 人	9,809	単位 人	10,290	単位 人
			実績	9,586	単位 人	7,806	単位 人	12,718	単位 人	9,844	単位 人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			902.88		1,108.51		678.17		857.88		

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	令和元年度末時点の課題	地域を担う人材を発掘・育成するため，若年層，特に中高生の公民館事業への参加促進を図る必要がある。また，地域住民のニーズに沿った事業をより効果的・効率的に実施するため，地域で活動する多様な主体との連携を強化し，地域資源の活用をさらに推進する必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	地域特性を勘案して既存事業の見直し及び新規事業の展開，各事業の周知方法の拡充を行うとともに，地区内の学校や企業等との連携・協働により地域の活性化に向けた取組を進める。

6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公民館が果たすべき役割に基づいて各種事業を実施し，地域住民の主体的な学びの場を提供することにより，いくつかの課題を残しながらも一定の成果を上げて，地域活動の活性化に貢献することができた。	
	事業の方向性	事業統合
今後の方針	新庁舎の有効活用を図りながら，引き続き，地域課題の解決に向けた事業や地域住民のニーズを反映した事業，地域の特性を生かした事業を展開し，多世代にわたってより多くの方々にご利用していただける地域交流の場となるよう公民館機能の一層の充実に努める。 この事務事業については，令和2年度から公民館管理費と統合し，より効果的，効率的な運営を図っていく。	

7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
17	公民館事業の企画及び実施に関すること	無	無	1	3
18	公民館事業等に係る公金等の取扱いに関すること	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

8. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2020.8.24
----	-------	----	-------	-----	-----------